

# 県民のあゆみ

2024

9

令和6年9月号

山形県広報誌  
令和6年9月号

県民のあゆみ

No.641

奇数月1日発行 編集発行◎山形県広報誌推進課  
〒990-8570 山形市松波二丁目8番1号 ☎023-630-2534

表紙題字 | 山形県知事 吉村美栄子  
県ホームページURL https://www.pref.yamagata.jp/



サイエンス推進  
この月曜日は、科学的な見方へ  
リサイクルできます。

- 特集1 農業の多様な担い手の確保に向けた取組み **P.02**
- 特集2 地球にもお財布にもやさしい脱炭素アクション **P.04**
- 特集3 西村山地域の持続可能な医療提供体制の確保に向けて **P.05**
- 奏であう人 **P.08** / 潜入レポート! **P.16**

東北農林専門職大学で農業経営を学ぶ学生の皆さん。大学では、農業経営の基礎から、スマート農業や国際市場に通用する経営理論まで、理論と実践をバランスよく学びます。  
(撮影場所:東北農林専門職大学)

今月の表紙



## どうなってるの!?

### さかたこう 酒田港 後編

酒田港の物流を支える、大きな機械たちはどんな仕事をしているの?

おおいきかい しごと

潜入動画はこちら

コンテナの積み込みはまるでパズルのよう。重さや大きさを考えながら船に積み込みます。

海と陸をつなぐ物流拠点である酒田港では、九州方面や韓国、中国に向けて荷物を運ぶコンテナ船が入りします。酒田港で船に積まれるコンテナの重さは、最大で1個30トン。リーチスタッカーと呼ばれる機械がコンテナを持ち上げてトラックに積み、トラックが船の近くまで運びます。大きなコンテナ船にコンテナを積み込むのは、さらに大きなコンテナクレーン。トラックからコンテナをつり上げ、船にすき間なく積み込んでいきます。船の重さのバランスや荷降ろしの順番を考えながら、1時間に30個ほどのペースで船に積み込むそうです。船の出発時間までにテキパキとコンテナの積み降ろしをする様子は、見事なチームプレイです。一度に大量の荷物を運べる船による輸送は、地球温暖化の大きな原因である二酸化炭素の排出量が少ない輸送手段の一つだそうです。多くの県内企業の皆さんから、酒田港を利用していただけたらいいですね。



酒田海陸運送株式会社 取締役事業部長  
佐藤 祐 さん

酒田港は山形県唯一の海の玄関口として県民の皆さまや荷主の皆さまに支えられて発展してきました。ぜひ酒田港に来て、海風と潮の香りを肌で感じながら、にぎわいや港町の雰囲気を楽しんでください。



全長6メートルと12メートルのコンテナは、世界共通の規格。鋼鉄製で安全に荷物を運べます。冷凍や冷蔵ができるコンテナもあります。



リーチスタッカーは、大きなアームでコンテナをつかんで持ち上げ、コンテナをトラックに載せたり、移動させたりできます。



酒田港エリアには、食と観光の交流施設「SAKATANTO(サカタント)」や「さかた海鮮市場」など魅力がいっぱい。港の楽しさを発見してみよう!

